

■運営委員会 委員長：三原毅(島根大)
■運営委員会幹事会 代表：中村健太郎(Science Tokyo) 副代表：松川真美(同志社大)、近藤淳(静岡大)
委員：荒川元孝(東北大学)、大隅歩(日大)、荻博次(大阪大)、工藤すばる(石巻専修大)、黒澤実(Science Tokyo)、崔博坤(明治大)、酒井啓司(東大)、野村英之(電通大)、橋本研也(電子科技大)、長谷川英之(富山大)、平野太一(明治大)、榊田晃司(農工大)、三浦光(日大)、森田剛(東大)、山本健(関西大)、渡部泰明(都立大)
監事：櫛引淳一(東北大)、渡辺好章(同志社大)
■実行委員会 委員長：森田剛(東大) 副委員長：榊田晃司(農工大)
委員：荒川元孝(東北大)、荻博次(大阪大)、近藤淳(静岡大)、野村英之(電通大)、長谷川英之(富山大)、平野太一(明治大)、松川真美(同志社大)
■現地実行委員会委員
辻俊宏(島根大)、野村英之(電通大)、平野太一(明治大)、松本幸大(島根大)、三原毅(島根大)
■論文委員会 委員長：山本健(関西大) 副委員長：荒川元孝(東北大)
委員：大川浩一(秋田大)、大隅歩(日大)、大橋雄二(秋田県立大)、荻博次(大阪大)、小原良和(東北大)、垣尾省司(山梨大)、工藤すばる(石巻専修大)、小池義和(芝浦工大)、小林牧子(熊本大)、小山大介(同志社大)、近藤淳(静岡大)、西條芳文(東北大)、田中秀治(東北大)、土屋健伸(神奈川大)、鶴田健二(岡山大)、出口充康(海洋研究開発機構)、中村健太郎(Science Tokyo)、新田尚隆(産総研)、野村英之(電通大)、則末智久(京都工繊大)、橋本研也(電子科技大)、長谷川英之(富山大)、林高弘(大阪大)、原田明(九州大)、平野太一(明治大)、榊田晃司(農工大)、松川真美(同志社大)、森和義(防衛大)、森田剛(東大)、安井久一(産総研)、柳谷隆彦(早稲田大)、山川誠(芝浦工大)、山口匡(千葉大)、吉澤晋(東北大)、吉田憲司(千葉大)、若槻尚斗(筑波大)
■運営委員会委員
會澤康治(金沢工大)、青柳学(室蘭工大)、赤尾慎吾(ボールウェーブ)、浅田隆昭(浅田技術士事務所)、浅見拓哉(日大)、足立和成(山形大)、足立寛太(大阪大)、阿部洋(トーキン)、李香福(日女大)、生嶋健司(農工大)、石井孝明(山梨大)、石井琢郎(東北大)、伊藤一陽(農工大)、井原郁夫(長岡技術科大)、岩瀬良一(海洋研究開発機構)、上田政則(太陽誘電モバイルテクノロジー)、内田武吉(産総研)、海老原格(筑波大)、遠藤信行(神奈川大)、大久保寛(都立大)、大塚翔(千葉大)、大村眞朗(富山大)、大森達也(千葉大)、小笠原英子(防衛大)、興津健二(大阪公立大)、沖村康之(日本特殊陶業)、笠島崇(日本特殊陶業)、神山直久(GEヘルスケア・ジャパン)、神田岳文(岡山大)、菊池年晃(防衛大)、工藤信樹(北海道大)、倉科佑太(農工大)、黒山喬允(防衛大)、黄啓新(神奈川工大)、江田廉(群馬大)、小塚晃透(愛知工大)、後藤令(スカイワークスソリューションズ)、小林和人(本多電子)、齋藤敦史(芝浦工大)、齊藤晋聖(北海道大)、齊藤史郎(東芝)、坂本眞一(滋賀県立大)、佐藤隆幸(都立大)、志村拓也(海洋研究開発機構)、沈青(電通大)、神雅彦(日工大)、末利良一(古野電気)、杉本恒美(桐蔭横浜大)、鈴木雅視(山梨大)、善甫啓一(筑波大)、副島潤一郎(カイジョー)、高崎正也(埼玉大)、高嶋昭一(沖電気工業)、高柳真司(同志社大)、田川憲男(都立大)、瀧宏文(マリ)、竹内真一(東京都市大)、田邊将之(熊本大)、田原麻梨江(Science Tokyo)、田村和輝(浜松医大)、田村英樹(東北工大)、千葉裕介(産総研)、辻俊宏(島根大)、辻本敏行(堀場製作所)、土屋隆生(同志社大)、土屋利雄(海洋大)、土信田豊(足利大)、長岡亮(富山大)、中川誠司(千葉大)、長久保白(東北大)、中島吉太郎(大阪大)、中曽教導(凸版印刷)、永田肇(東京理科大)、長谷芳樹(ヒクシーダストテクノロジーズ)、中村暢伴(大阪大)、浪田健(芝浦工大)、野毛悟(沼津高専)、畑中信一(宇都宮大)、平田慎之介(千葉大)、飛龍志津子(同志社大)、福山敦彦(宮崎大)、藤井知(物質・材料研究機構)、細川篤(明石高専)、細田真妃子(電機大)、増山裕之(鳥羽高専)、松田理(北海道大)、水野勝紀(東大)、水野隆(コニカミノルタ)、美谷周二朗(東大)、宮崎尚(防衛大)、宮地幸哉(富士フイルム)、宮本隆典(海洋大)、村越裕之(日本電波工業)、森翔平(東北大)、森直樹(大阪大)、安田啓司(名古屋大)、山田顕(東北学院大)、山本弘(日立建機)、山本満(日本電気)、吉岡正裕(産総研)、和田有司(Science Tokyo)、和高修三(アミック)、渡邊佳孝(海洋研究開発機構)、J. Kim (Tongmyong Univ.), M. Kim (Pukyong National Univ.), Y. Ono (Carleton Univ.), K.-C. Park (Pukyong National Univ.), Y. Son (Kumoh National Inst. of Tech.), O. B. Wright (Osaka Univ.)
■顧問：伊藤洋一、黒澤実、椎名毅、蜂屋弘之

(依頼中含)

シンポジウム開催期間

11月12日(水)～11月14日(金)

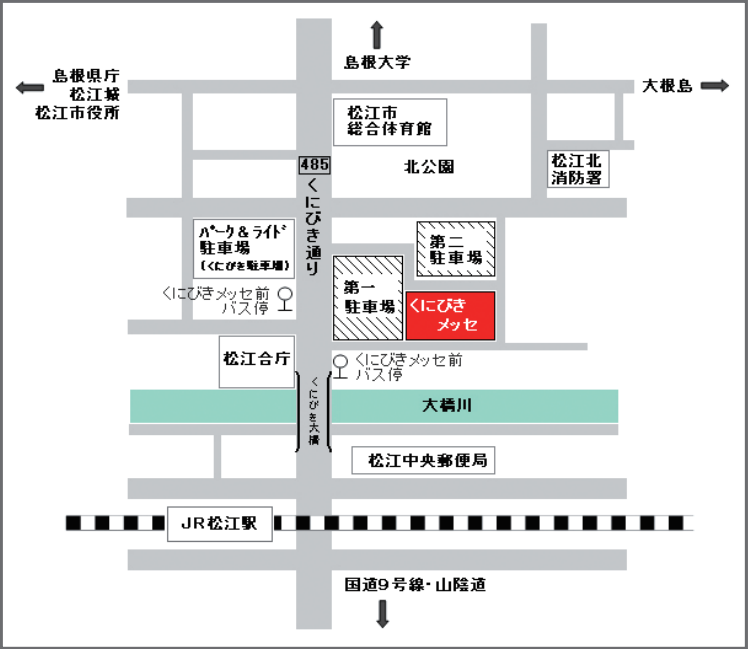
講演申込締切 7月9日(水) 24:00JST
論文集原稿 (A4x2頁) 締切 8月8日(金) 24:00JST
講演者参加申込・支払締切* 10月3日(金)
参加費事前割引支払締切 10月27日(月)
JJAP論文特集号原稿締切 11月28日(金) 24:00JST

*講演者の振込は論文委員会の結果が通知されてからお願いします

シンポジウム会場

くにびきメッセ (島根県立産業交流館)
〒690-0826 島根県松江市学園南1丁目2-1
<https://www.kunibikimesse.jp/organizer/>

- 出雲縁結び空港から空港連絡バスで JR 松江駅まで約 30 分
- 米子鬼太郎空港から空港連絡バスで JR 松江駅まで約 45 分
- JR 松江駅からくにびきメッセまで路線バス約 3 分または徒歩約 7 分



The 46th Symposium
on
UltraSonic Electronics
USE
2025
November 12-14, 2025,
Shimane, Japan
Kunibiki Messe, Matsue

期 間：2025 年 11 月 12 日(水)～14 日(金)
会 場：くにびきメッセ (島根県松江市)
<https://use-jp.org>

第46回 超音波エレクトロニクス
の基礎と応用に関するシンポジウム

主催：超音波エレクトロニクス協会USEシンポジウム運営委員会

後援(依頼中含)：応用物理学会/IEEE UFFC All Japan Joint Chapter/電子情報通信学会

協賛(依頼中含)：

- 映像情報メディア学会/海洋音響学会/精密工学会/弾性波素子技術コンソーシアム/超音波工業会/
電気学会/日本音響学会/日本化学会/日本機械学会/日本金属学会/日本生体医工学会/
日本ソノケミストリー学会/日本超音波医学会/日本非破壊検査協会/日本物理学会/日本分光学会/
日本分析化学会/日本分析機器工業会/非線形音響研究会

USE ウェブサイトから「超音波用語事典 (電子版)」が自由に閲覧できます。

USE 2025

ごあいさつ

USE2025 運営委員長
三原 毅 (島根大学)

本超音波エレクトロニクスの基礎と応用に関するシンポジウムは、「超音波関連分野の基礎から応用に携わる研究者が一堂に会し、発表と討論を通じて互いの成果を共有し、学術の進展に寄与すること」を目的として1980年12月に第1回が開催されました。以来、この基本理念を堅持しながら毎年開催され、今年は第46回を迎えます。本シンポジウムで得られた多くの学術的成果は、英語講演論文集としてWeb公開しております。更に、regular paper または brief note として投稿・採択された学術論文は、応用物理学会英文誌：Japanese Journal of Applied Physics (JJAP) の Ultrasonic Electronics 特集号として毎年収録され、世界的にも高い評価を受けています。また、この学術交流の場を、国内外を問わず、より多くの研究者・技術者に提供するために、英文講演論文集の発行、英語口頭セッションを実施しています。現在では、韓国、台湾、中国、欧米などからの参加者は10%以上を占め、アジアにおける超音波研究発表の場を代表する会議です。

2025年は、くにびきメッセ(島根県松江市)にて2025年11月12日(水)～14日(金)に開催いたします。これまで以上に多くの皆様に御参加いただき、共に有意義な時間を過ごすことができることを祈念しております。

■超音波シンポジウム論文賞

本シンポジウムで発表し、さらに、Japanese Journal of Applied Physicsに論文として公表された超音波に関する研究成果であって、科学と技術の発展に顕著な貢献が期待されるものを選定し、超音波シンポジウム論文賞 (Symposium on Ultrasonic Electronics: Best Paper Award) を贈呈します。

■超音波シンポジウム奨励賞

本シンポジウムにおいて優れた口頭発表またはポスター発表を行った第一著者かつ登壇者(ポスターの場合は発表者)で、シンポジウム開催翌年(今回は2026年)の4月1日で満37歳以下の方を対象として、超音波シンポジウム奨励賞 (Symposium on Ultrasonic Electronics: Young Scientist Award) を贈呈します。意欲ある優秀な研究者は講演申込時に申請してください。

両賞とも授賞式は次年度のシンポジウムで行ないます。

USE 2025

論文募集分野

1. 超音波物性, 材料, フォノン物理, 光超音波エレクトロニクス
2. 測定技術, 映像法, 非破壊評価
3. 圧電デバイス(バルク波デバイス, 弾性表面波デバイス)
4. 非線形, 強力超音波, ソノケミストリー
5. 生体医用超音波
6. 海洋音響

JJAP 特集号論文投稿について

(Web投稿先は講演採択者にお知らせします。)

論文委員長 山本 健 (関西大学)

【論文関係問合せ先】 program@use-jp.org

センキョウ (投稿Webサイト技術サポート)

Tel: 022-236-7161 Fax: 022-236-7163

■講演申込(7月9日(水)24:00JSTまで) USEウェブサイトから申し込んで下さい。この申し込みデータは論文委員会において採否決定に使われます。皆様の積極的な参加をお待ちしています。また、超音波シンポジウム奨励賞の申請者は講演申込とともに申請登録を忘れずに行ってください。

■講演論文集の原稿(8月8日(金)24:00JSTまで) 文字化けを防ぐため doc, pdf 形式の両方をウェブサイトからご提出下さい。執筆要綱、テンプレートもウェブサイトをご参照下さい。過去の講演論文集は USE ウェブサイトから閲覧することができます。講演論文は、J-Stage およびシンポジウム終了半年後ごろにウェブサイトに公開します。このことに支障のある方は、原稿提出時にお申し出下さい。

■講演採択の決定 論文委員会が審査を行い、採否と発表形式(口頭・ポスター)を決定します。採択通知は9月下旬ごろに電子メールで講演申込者に配信予定です。

■講演者の参加申込・支払および講演登録料支払(10月3日(金)まで) 講演原稿が採択された講演者は、必ず期限までに参加申込を済ませ、参加費および講演登録料(1件5,000円)をお支払い下さい。お支払いの際は講演者名義で発表1件ごとにお支払い下さい。

■JJAP特集号論文の原稿(11月28日(金)24:00JSTまで) 講演が採択され、USEにて発表した方はJJAP (Japanese Journal of Applied Physics) 特集号に原著論文を投稿することができます。通常号と同様の査読プロセスにより採否を決定します。投稿はWebで行いますが、投稿先URL、投稿要領はシンポジウム講演の採択通知後にお知らせします。JJAP論文のIOP移行に伴い、投稿・審査・出版手続き等が変更されております。詳細はウェブサイトでご確認ください。

USE 2025

懇親会

日時：11月13日(木) 18:00 (予定)

会場：くにびきメッセ

会費：一般 6,000円 学生 4,000円

retired 6,000円

総合問合せ先

実行委員長

森田 剛 (東京大学)

steering@use-jp.org

■参加申込 参加される方はUSEウェブサイト上でアカウントを取得し、作成されたマイページ上からお申し込み下さい。参加費は下記のとおりです。講演登録料、懇親会費も支払えます。支払いはクレジットカードのみとさせていただきます。クレジットカードでの支払が難しい場合は、参加登録手続き前にfee@use-jp.orgへご相談ください。

なお、シンポジウム当日のお申込み・支払いはお受けできません。事前にマイページから指定の期日までに参加申込み・支払いをお済ませいただき、ご参加ください。また、10月27日(月)までに参加費を送金される場合は割引価格が適用されますので、早めの申し込み、お支払いをお勧めします。

■参加費 10月27日(月)まで：18,000円(一般) 3,000円(学生) 3,000円(retired*)

10月28日(火)～11月7日(金) 正午：23,000円(一般) 6,000円(学生) 6,000円(retired*)

*retired 大学、企業等を退職されて所属の無い方

講演者につきましては、10月3日(金)までに参加費・講演登録料のお支払いがない場合は、講演を取り消させていただきます。参加費には講演論文集(オンラインにて入手)の代金が含まれています。また、今回一般参加申込みをされた方には次回のシンポジウム案内を差し上げる予定です。